

夏瀬の森

だより

令和八年一月二十五日 第一一〇号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

本年もよろしくお願いいいたします

令和八年（紀元二六八六年）丙午（ひのえうま）の年頭に当たり、謹んで皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安をお祈りいたします。穏やかな元旦の後は厳しい寒さが続きましたが、今年も大勢の方がお詣りに来ていただきました。

年末には総代さん方が境



内十二ヶ所の手作りのしめ縄を掛け替え、社殿の装飾や、門松を作り、提灯を吊り、焚火の準備を整えていただきました。敬神婦人会

の方々も隅々まで境内を清めてくださり、今年も万全の状態の皆様方をお迎えすることができました。氏子の方々はもちろん、境内の雰囲気に着かれた他府県の方々や、少年野球クラブの子たちもグラウンドから走って必勝・健康の御祈禱を受けに来てくださり、田舎のどかな優しい雰囲気



おみくじは生活の指針に

皆様はどのようなお願いをされたのでしょうか。大勢の方がおみくじもひかれ吉凶を占っておられました。占いと、先ずは御神徳を仰ぎ、それに基づいて懸命に頑張るといふ信仰の表われです。おみくじは単に吉凶判断を目的とするのではなく、その内容を生活の指針とすることが大切です。皆様方にとって健康で活気のある素晴らしい年になりますようお祈りいたします。

巳から午へ

十二月十一日、冬祭を執り行いました。宮中では十一月二十三日に、その年に収穫した作物を神々に捧げ感謝を伝える新嘗祭（にいなめさい）が行われますが、みかんの里の当社では冬祭が新嘗のお祭です。



この日、絵馬も午にかけ替えました。今年は丙午（ひのえうま）。炎のように燃える情熱やエネルギーを象徴とする干支であり、馬が大地を駆け抜ける姿を彷彿とさせます。新しいものに挑戦をし、常に前に進んでいく姿を表すことができたと描きました。描き始めて今年で三十四年目の絵馬ですが、年に一度しか絵筆を持たないので、毎年、思いが伝わるかが心配なところです。

田殿丹生神社氏子成人奉告祭

一月十一日夕刻、「有田川町二十歳の集い」を終えた田殿地区の青年たちが田殿丹生神社に集合し、成人奉告祭を執り行いました。式典では中本さんと三木くんが代表で玉串奉奠を行い、式典後は賑やかに記念撮影を行いました。小学校の元担任の先生が届けてくれた十年先の自分あての手紙を見せ合ったり、家族の方も大勢お参りくださり、薄暗くなるまで歓談してくれました。素敵な大人を目指して、殿つ子



殿つ子



鎮火祭 火の恵みに感謝



十二月一日、午前六時より月並祭にあわせて鎮火祭を執り行いました。火の恵みに感謝し、災いの無きよう消防団員の

方々と共に御祈禱いたしました。お配りさせていたいただいた火の用心のお札は火の取り扱うところにお貼りください。



粥占い神事



一月十五日 未明、粥占い神事を行いました。竹筒と共に小豆粥を炊き、筒の中の小豆粥の入

り具合で農作物の出来を占います。今年も筒にはお米、小豆共に十分入っていました。異常気象もあり、年々難しくなっている農業ですが、氏神様の御神徳を受け、力強い有田みかんのブランドを皆さん方の知恵と努力でさらに盛り上げていきますこと、お祈りいたします。



感謝の焚き上げ式

一月十五日、焚き上げ式を執り行いました。お札やお守、縁起ものなどを、一年間の感謝の気持ちを込めた御祈禱の上、総代さん方と共に丁寧に焚き上げました。



新しい灯が増えました

昨年はたくさんの方々新しい提灯を御奉納（献灯）いただき、感謝申し上げます。新年の三が日、神様の道を明るく照らし、その

威徳を称えてくださいました。なお、提灯に



奉納者のお名前があるということは、提灯が身代わりとなり、神様がすぐそばで守ってくださいさるということです。次は夏祭や輪越しの際に照らしていただきますが、傷んでいる提灯も増えてきましたので、引き続き灯火の御奉納をいたたくことができればありがたく存じます。五千円でお名前を記した提灯をご用意させていただきます。詳細は神社までお問い合わせください。

厄年とは

古くは厄年は晴れの年齢と考えられており、厄年になるといのは社会で一定の地位を得ることを示していました。そのために、様々な災難に遭いやすい年でもあるので、心身を正常に保ち、言動を慎重に必要があり、厄年被いにつきまはしてはお気軽にお尋ねください。

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成15年生)	25歳 (平成14年生)	26歳 (平成13年生)
41歳 (昭和61年生)	42歳 (昭和60年生)	43歳 (昭和59年生)
60歳 (昭和42年生)	61歳 (昭和41年生)	62歳 (昭和40年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成21年生)	19歳 (平成20年生)	20歳 (平成19年生)
32歳 (平成7年生)	33歳 (平成6年生)	34歳 (平成5年生)
36歳 (平成3年生)	37歳 (平成2年生)	38歳 (昭和4年/平成元年生)

※数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。

文化財は地域の宝

一月二十五日、田殿公民館にて「御神像レプリカワークショップ」を開催しました。地域の歴史と文化を知り、地域の宝である文化財を地域で守っていたり、ための企画です。詳細については次号で紹介します。



田殿丹生神社

